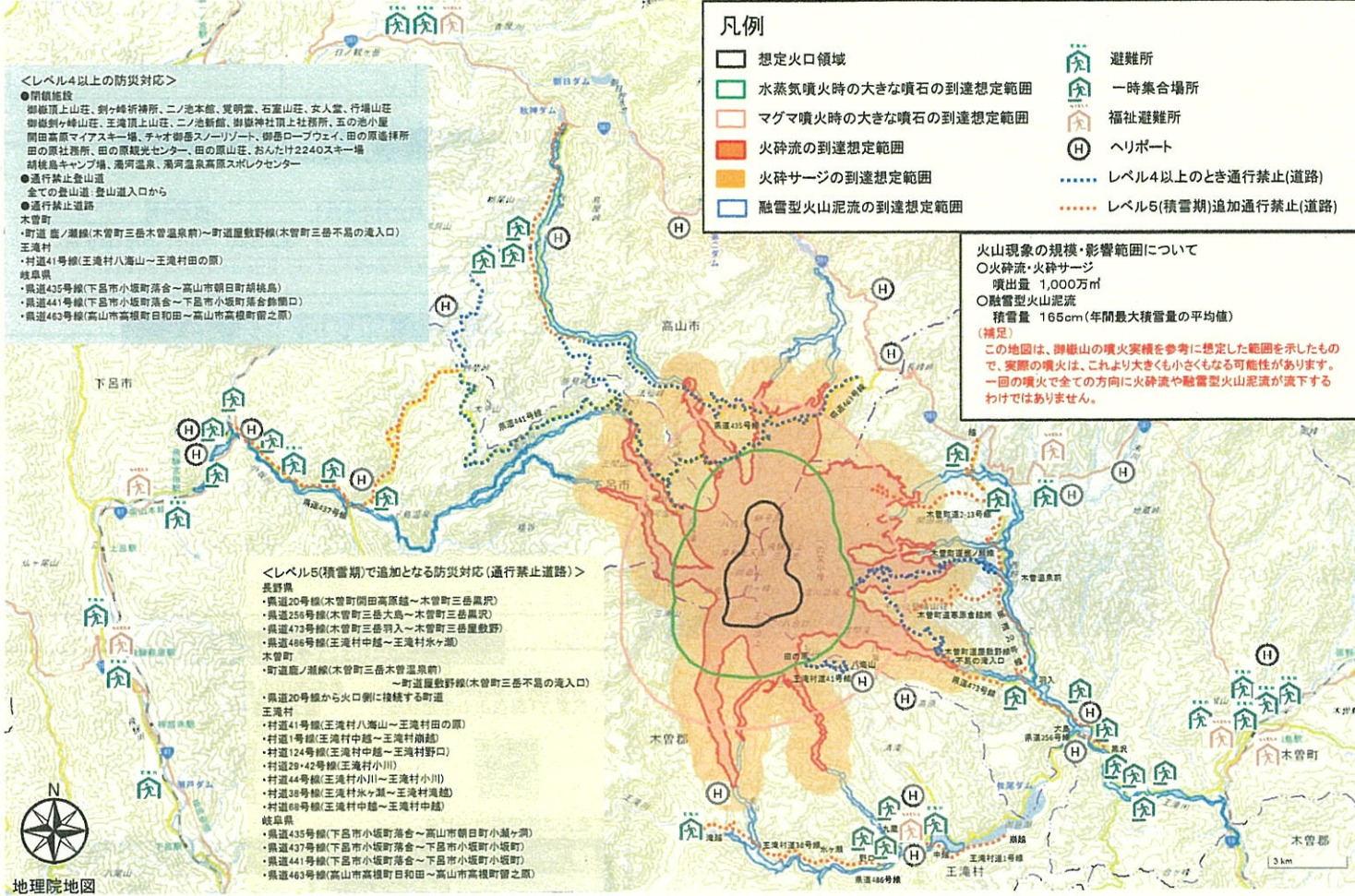


御嶽山火山防災マップ

【噴火警戒レベル4・5】

(平成28年8月1日現在)



噴火に備えて

○御嶽山は活火山です。
概ね過去1万年以内に噴火した火山および現在活発な噴気活動のある火山を「活火山」と定義しています。
御嶽山では、1979(昭和54)年噴火以前の歴史記録に残る噴火は発見されていませんが、山頂南西の地獄谷における噴気活動は、最近数百年間は継続しています。
1979年の剣ヶ峰の南側で水蒸気噴火が発生して以降、1991(平成3)年、2007(平成19)年にもごく小規模の水蒸気噴火が発生し、2014(平成26)年9月27日に水蒸気噴火が発生しました。

○御嶽山の活動状況をチェックしましょう。
火山活動の状況を噴火時等の危険範囲や避難等の必要に応じて5段階(レベル1～5)に区分した噴火警戒レベルが導入されています。レベルの段階に関わらず、気象庁からの情報には常に注意しましょう。

<噴火警戒レベル>

予報 警戒	対象 範囲	噴火警戒レベルと キーワード	火山活動時の状況	住民等の行動 及び登山者・入 山者への対応
噴火 警戒	居住地 域及びそ れより火 口側	5 避難	居住地に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地からの避難等が必要。
		4 避難準備	居住地に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要。
火口 周辺 警戒	火口周 辺	3 入山規制	居住地の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて要配慮者の避難準備等。登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等。
		2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。
噴火予 報	火口内 等	1 活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状況によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。

○立入禁止や避難に関する情報に従ってください。
御嶽山の火山活動が活発になると、レベルに応じて、市町村では立入を禁止する区域を設定したり避難に関する情報を出しますので、その内容に従ってください。

- ・レベル1: 状況に応じて、立入を禁止する区域の設定
- ・レベル2、3: 立入を禁止する区域の設定
- ・レベル4: 避難準備情報の発令
- ・レベル5: 避難勧告又は避難指示の発令

お願い

- ・登山計画書(登山届)は必ず提出しましょう。
- ・入山前に、規制状況などを市町村に確認しましょう。

凡例に示す火山現象



噴石
噴火に伴って、火口から吹き飛ばされる固形物で、時には、火口から数km程度まで飛散することがあります。大きさにより、風の影響の程度が違い飛散範囲が大きく異なることから、気象庁では、「弾道を描いて飛散する大きな噴石」と「風に流されて降る小さな噴石」に区別しています。

火砕流
火山灰や岩塊、火山ガスや水蒸気などが一体となって急速に山体を流下する現象です。時速数十kmから数百kmで流れることが多く、温度は数百度にも達します。



火砕サージ
火砕流の先端や周辺では、熱い空気や火山ガス等の気体と、火山灰等が混じって高温・高速度の流れとなります。密度が小さく、地形の影響を受けにくい。火砕流の本体よりも遠方まで到達します。

融雪型火山泥流
雪が山頂付近に積もっている時期に噴火に伴い高温の火砕流などが発生すると、その熱により雪が融け、土砂、火山灰等と一緒に斜面を高速で流れ下る現象です。

【噴火警戒レベル2・3】

(平成28年8月1日現在)



<凡例>

- : 警戒が必要な範囲(立入禁止)
- 赤色線: 通行禁止(登山道)
- 茶色線: レベル2(1km警戒)以上のとき通行禁止(登山道、道路)
- 黄色線: レベル3(2km警戒)以上のとき通行禁止(登山道、道路)
- 緑色線: レベル3(3km警戒)以上のとき通行禁止(登山道、道路)
- 黒色線: レベル3(4km警戒)以上のとき通行禁止(登山道、道路)
- : レベル2(1km警戒)以上のとき施設閉鎖
- : レベル3(2km警戒)以上のとき施設閉鎖
- : レベル3(3km警戒)以上のとき施設閉鎖
- : レベル3(4km警戒)以上のとき施設閉鎖
- : 緊急避難場所
- : 登山口(救急車待機場所)

実線表示: 登山道
破線表示: 道路

<レベル2(火口周辺規制1km)以上の防災対応>

- 閉鎖施設: 御嶽頂上山荘、剣ヶ峰祈禱所、ニノ池本館、夏朝堂、石室山荘、女人堂、行場山荘、御嶽剣ヶ峰山荘、王滝頂上山荘、ニノ池新館、御嶽神社頂上社務所、五の池小屋、開田高原マイアスキー場、チャオジョスキーリゾート
- 通行禁止登山道: 王滝口登山道、行場山荘から上部、黒沢口登山道、行場山荘から上部
- 上記以外の登山道、全区間

<レベル3(入山規制2km)で追加となる防災対応>

- 閉鎖施設: 御嶽ロープウェイ、田の原巡拝所、田の原社務所、田の原観光センター、田の原山荘、おんたけ2240スキー場
- 立入禁止登山道: <全ての登山道> 全区間
- 通行禁止道路: 木曾町、町道並ノ瀬2号線(木曾町三岳岳頂ロープウェイ入口ゲート)~町道屋敷野線(木曾町三岳八満山ゲート) 五高村、村道41号線(王滝村八高山~王滝村田の原) 岐阜県、県道435号線(下呂市小坂町落合黒河温泉分岐~高山市高槻町日和田チャオジョスキーリゾート)

<レベル3(入山規制3km)で追加となる防災対応>

- 閉鎖施設: 胡枝島キャンプ場、黒河温泉
- 通行禁止道路: 岐阜県、県道435号線(下呂市小坂町落合黒河温泉起点~高山市高槻町日和田県道463号線分岐) 岐阜県、県道463号線(高山市高槻町日和田県道起点~高山市高槻町雷之原市道開拓分岐)

<レベル3(入山規制4km)で追加となる防災対応>

- 閉鎖施設: 黒河温泉高層スホレストセンター
- 通行禁止道路: 木曾町、町道並ノ瀬線(木曾町三岳岳頂温泉前)~町道屋敷野線(木曾町三岳不逞の滝入口) 岐阜県、県道435号線(下呂市小坂町落合黒河温泉起点~高山市朝日町胡枝島雨量規制ゲート) 岐阜県、県道441号線(下呂市小坂町落合黒河温泉起点~下呂市小坂町落合道分岐)

(注意)
○この地図は、御嶽山の噴火実績を参考に想定した火口領域からの警戒が必要な範囲を示したもので、実際の噴火口の位置により、この範囲は確定されます。
○規制範囲外の登山道においても、崖出、崩落等により通行を禁止する場合があります。入山される場合は、事前に市町村に通行の可否を確認ください。

避難対象地区及び避難先

避難対象地区	一時集合同所	避難ルート	避難所	
			施設名	福祉避難所
一之宿	一之宿公民館	県道435→国道361	燐燐朝日館	朝日福祉センター
桑之島	上西洞公民館		朝日小学校体育館	
西洞	下西洞公民館			
宮之前				
胡枝島				

孤立対象地区

噴火時の通行規制に伴う孤立対象地区

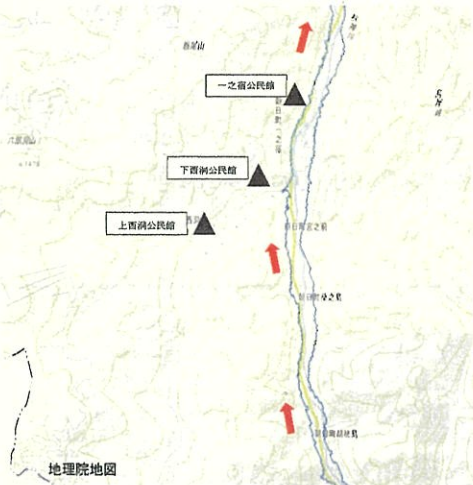
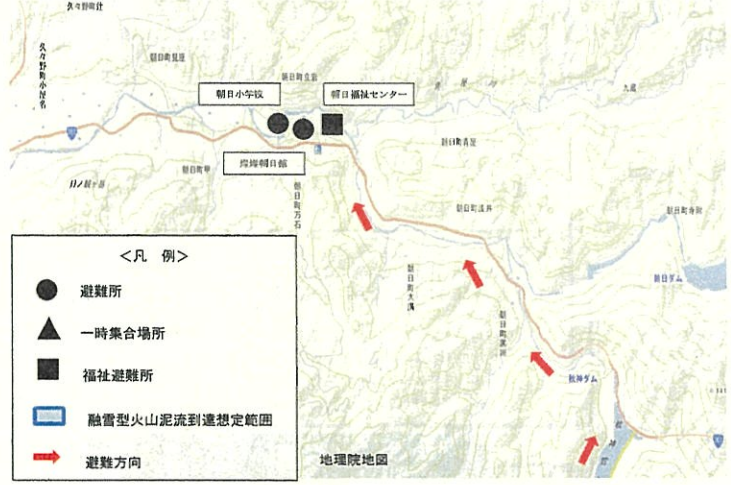
市町村	孤立対象地区	孤立時期
高山市(朝日町)	鈴蘭高原	噴火警戒レベル5発表時(積雪期)

※実際の火山活動の状況や通行規制の実施状況により、孤立対象地区が異なる場合があります

関係機関連絡先

- 緊急時連絡先
 - 高山警察署 0577-32-0110
 - 高山市消防本部 0577-32-0119
- 関係機関連絡先
 - 気象庁 03-3212-8341(代表)
 - 岐阜地方気象台 058-271-4107、長野地方気象台 026-232-2034
 - 高山市危機管理室 0577-32-3333(代表)
 - 岐阜県防災課 058-272-1111(代表)
 - 岐阜県飛騨県事務所振興防災課 0577-33-1111(代表)

<避難ルート図:噴火警戒レベル4・5での対応>



火山情報を知るには

- 火山に関する情報
 - 気象庁「御嶽山の活動状況」
 - 国土交通省中部地方整備局 多治見砂防国道事務所 ライブカメラ
- 御嶽山の最新画像
- 噴火速報提供サービス
 - Yahoo! JAPANが提供するサービス
 - Yahoo!防災速報
 - Yahoo!ニュースアプリ
 - Yahoo! JAPAN / アプリ
 - Yahoo! JAPAN トップページ
 - 日本気象株式会社 が提供するサービス
 - お天気ナビゲーション
 - 噴火速報アラート
- 緊急性の高い情報
 - 噴火など緊急性の高い情報は、防災行政無線や緊急速報メール(エリアメール)など、様々な手段で住民の皆さん、登山者、観光客に伝えられます。テレビやラジオ、情報端末などを活用し情報収集に努めてください。

作成者: 高山市・御嶽山火山防災協議会